

令和7年度満濃池周辺地域PR委託業務に係るプロポーザル要領

1 趣旨

満濃池周辺地域の自然や歴史などの魅力を広く発信するために、SNS等を活用した情報発信、親子連れも楽しめるイベントの企画・運営、そして地域の見所や施設・歴史を紹介するパンフレットの作成・配布を一体的に実施する。これらの取組を通じて、満濃池周辺の魅力を多くの人々に伝え、県内外からの来訪者の増加と地域の活性化を図る。

2 業務概要

満濃池周辺地域を効果的にPRするための広報・イベント等の企画及び会場等設営・運営管理等について業務委託するものである。

<主な業務内容>

- ア 情報発信
- イ イベント企画・運営
 - ①にぎわいイベント
 - ②満濃池周遊イベント
- ウ パンフレット作成・配布

3 委託金額

7,000,000円以内（消費税及び地方消費税の額を含む）

4 企画提案内容

別紙「令和7年度満濃池周辺地域PR委託業務基準仕様書」に基づく企画提案とする。

(1) 企画提案書

- ① 情報発信のための広報計画
- ② イベント開催（にぎわいイベント・満濃池周遊イベント）にかかる企画内容、会場等設営計画及び運営管理計画（警備員等の配置など、混雑が懸念される駐車場での計画や、園外道路を使用する可能性がある満濃池周遊イベントの安全管理体制を含む。）
- ③ 上記②のためのチラシデザイン（にぎわいイベント・満濃池周遊イベント） 各1点
- ④ パンフレットデザイン1点及び配布部数・配布先の案
- ⑤ PR業務、イベント業務等、類似業務での実績がわかる書類（契約書等、事業の受注が確認できる書類（写し））

(2) 見積書

5 プロポーザルの概要

(1) プロポーザル応募者からの企画提案書及び見積書の提出

- ① 提出物 1者当たり1案まで
 - ア 企画提案書 A4版使用で10部（1部は社名入り、9部は社名無し）
 - イ 見積書 1部
- ② 提出期限 令和7年9月1日（月）12時厳守
- ③ 提出場所 香川県環境森林部森林・林業政策課

(2) 審査会（プレゼンテーション）の実施

- ① 実施日時 令和7年9月3日（水）10：00～12：00（予定）
（持ち時間は、1者当たり25分以内とし、時間の割り振りは企画提案書提出時にお知らせします。）
- ② 実施場所 香川県庁北館4階 404会議室

(3) 選定

① 選定方法

プレゼンテーションにより審査委員が審査基準に基づき審査を行い、審査後契約予定者を決定する。

ア 100点満点中60点（6割）を最低基準点とし、各審査員の評価点数の合計が最低基準点を満たした団体のうち、最も高い1者を契約予定者として選定する。

イ 最も評価点数の高い者が2者以上あるときは、提出した見積書の金額が最も少額である者を契約予定者として選定する。

ウ 最低基準点の点数を満たす企画提案がないときは、採用者なしとする。

② 結果

審査の結果は、契約予定者決定後に、プレゼンテーションへの参加者すべてに通知する。
なお、審査経過については公表しない。

(5) 参考

【提案書の評価方法】

提案書の評価は、審査項目ごとに、次表の評価基準により行います。

<評価基準>

評価基準	得点
特に優れている	配点の100%
優れている	配点の80%
普通	配点の50%
劣っている	配点の20%
特に劣っている	配点の0%

【審査基準】

審査項目	配点
① 効果的な広報活動等の内容（配点 30 点）	30
満濃池周辺地域に人を呼び込むための効果的なアプローチができているか。	
SNSでの情報発信は、満濃池森林公園だけでなく、周辺地域への訪問を促す内容になっているか。	
広報がより多くの人目に留まるような工夫ができているか。	
② イベント開催にかかる企画内容及び会場等設営・運営管理の内容（配点 30 点）	30
独創性、話題性があり、魅力あるイベントになっているか。	
来園者の安全に配慮した企画・運営体制になっているか。	
同日に開催する「森と緑の祭典」と重複した内容になっていないか。	
③ パンフレットの作成内容（配点 20 点）	20
パンフレットの配布先・配布部数は適切か。	
パンフレットは、満濃池周辺地域の見どころや周辺の歴史を掲載したものになっているか。	
④ 業務実績の内容（配点 10 点）	10
過去のPR業務、イベント業務の実績及び組織体制は、本提案内容の実施に信頼がおけるものであるか。	
⑤ その他（配点 10 点）	10
バランスのとれた費用配分となっているか。	
緊急時に適切な対応がとれる管理体制となっているか。	
合計得点	100

6 その他

- (1) 企画提案に要する経費は、すべて応募者の負担とする。
- (2) 企画提案書の提出時に簡略なヒアリングを実施することもある。
- (3) 採否にかかわらず企画提案書は返却しない。